

社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼稚園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

2022

12



ArteKodomotoKi

お知らせ

12月2日（金）アート展前日は16時から準備に入ります。早お迎えのご協力をお願い致します。当日、在園児の鑑賞は午前中のみとなります。ご注意下さい。

※アート展当日は、保護者用の上履きと外靴入れをご持参下さい。

年内の保育は12月28日(水)まで、年始は1月4日(水)からです。

職員も交代で休暇をとりますので、1月4・5・6日にお休み予定している方は担任にお知らせ下さい。また、給食提供量を把握したい為、早めにご連絡をお願い致します。

1月は保護者会を予定しております。

24日（0・3歳） 25日（1・4歳） 26日（2・5歳）

乳児クラスは13時30分～14時30分 幼児クラスは15時～16時

December 12 2022						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1 0歳児健診	2	3 アート展
4	5	6	7 音楽あそび 発育測定	8	9 運動あそび	10
11	12	13	14 音楽あそび 0歳児健診	15 ミニコンサート	16 運動あそび	17
18	19	20 お話しっくり箱 避難訓練	21 誕生会	22 運動あそび	23 クリスマス会	24
25	26	27	28	29	30	31



保育室はアトリエ ~表現する子ども達~

園長 山田寿江

アート展のテーマは、「移ろう・変わる・めぐる」です。

自然は移り変わり、季節はまためぐっていきます。

けれど、いつも同じではありません。

生きものは、遠い昔から進化し続けています。

そして、人もまた変わり続ける生きものです。

一時、幼児では変身コーナーが流行り、女の子、男の子問わず大人のパンプスを履いてペタペタと歩く姿が見られました。
変身は、姿を変えて他になにものかになることです。

子ども達は、日々いろいろなことに出会い、心を動かします。
時にじっと見つめ、聞き入り、匂いを感じ、味わい、触れて、
思いをめぐらせます。時間が経つと変わるものもありますが、
ものと関わり子ども達が変化を加えることもあります。友だち
とのやりとりで、新しい何かが生み出されることもあるでしょう。

「移ろう」は時間の経過、「変わる」はその瞬間、「めぐる」は循環、繰り返して深める、らせん階段のように昇っていくといった意味合いでとらえています。テーマの中心は、「変化」です。形となる過程(プロセス)において、素材が変わっていく様子、子どもの心の変化、イメージの移り変わりに視点を置いてみました。この先、何が変わっていくのか子どもたちの表現から想像してみて下さい。
子ども達の力が表現された作品を通して、多くの方に伝わることを願っています。

ESDを知っていますか？

持続可能な開発のための教育(Education Sustainable Development)の略称です。2002年にSDGsがテーマとなった時に日本が提唱した考え方で、持続可能な社会の創り手を育む教育です。持続可能な社会づくりのための問題解決に必要な能力と態度は、7つ挙げられています。①批判的に考える力②未来像を予測して計画を立てる力③多面性、総合的に考える力④コミュニケーションを行う力⑤他者と協力する力⑥つながりを尊重する態度⑦進んで参加する態度です。

ケーキプロジェクトは②や④、⑤、⑦などにつながっています。

アート展の活動は③の要素もみられ、作成中の新たな発想が全く違ったものへ変わる面白さがあります。
問題の解決につながる新たな価値観や行動など、変革をもたらすマインドをえることが大切な時代。多様なニーズに、人と人が弱さを受け入れ合うには意識の変換が必要なのかもしれません。



アート展 2022

一般公開 12月3日(土) 13時～16時 最終入場 15時30分

会員やトキ・メンテーションには個人情報が含まれますので、会員内は漏洩しないようご注意ください。
会員登録の際に、お名前・性別・年齢・誕生日・郵便番号・電話番号・Eメールアドレスを登録して頂いております。
お問い合わせ用紙「お問い合わせカード」記入をお願いします。ご不明な場合はお問い合わせください。

アルテ子どもと木幼稚園

ねんど屋さんごっこ

今年度は春ごろから4歳5歳の子ども達と陶芸用粘土をゴムハンマーで粉にして、水を入れて練る遊びをしてきました。ハンマーで叩いて粉にする単純作業ですが、それが子ども達は楽しいようです。粉がたまつたらチリトリとほうきで集めてふるいにかけます。水を入れた瞬間、ねっとりとした粘土に変わるので、その瞬間の子ども達の顔の変化が私は大好きです。アート展では、4歳と5歳の有志が共同で作った『ありさんのお家』を展示します。



5歳さんは、この粘土で食器を作ることができると知ると、お茶碗を作りたいと言いました。でも釜がないので焼けないと説明し、お茶碗の形を作るまでの遊びということで作ってみることにしました。ところが、

「このお茶碗で給食食べいい？」
「僕は、お味噌汁を飲みたいから深くしたんだよ」
こんな子ども達の声を聞くと、何とか焼くことは出来ないだろうかという気持ちになりました。

先日、5歳さんはZEROホールの周りにお花の球根を植えるお手伝いをしました。その時に、ZEROには陶芸用の釜があることがわかりました。そして釜を使用することを快く承諾してくださいました。上手くいかわかりませんが、子ども達と新たな挑戦をすることにワクワクしています。

アート展では、素焼き前の状態で小皿を展示します。
是非、焼き上がりを楽しみにご覧ください。

主任：黒木



※今月はアート展の各クラスのみどころを紹介しています。



※今月の表紙の写真は、とほり先生が撮ったナイスショットです。公園のベンチに登ってにっこり。保育者と目が合ってにっこりのシーンです。

Ato0

もうすぐアート展です！

12月3日のアート展にむけて、0歳アト組も活動を開始しています。0歳児にとって、なにもかもが初めての出会いです。絵の具や筆も、その出会いの1つです。春は、すぐに興味を示して大胆に筆を動かす子どももいれば、筆を持って戸惑う子どももいました。今では、絵の具を自分で筆につけて点や線を描いたり、塗ったりして、それぞれに表現しています。

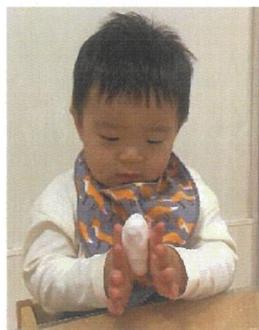
Bくんは、最初、筆を持つのを嫌がっていました。保育者が筆を持ってみせると、緑の絵の具を筆につけて紙の上に筆を下ろして、楽しそうに遊び始めました。赤い絵の具も少し使いましたが、黄色は嫌だと首を振っていました。でも、もう1枚新しく紙を用意すると、今度は黄色が気に入って、黄色を塗り始めました。緑は？と聞くと、首を振って緑は使いたがりません。そして、1枚目より大胆に筆を使って描いていました。色使いも筆使いも、1枚目と2枚目で変化が見られました。



粘土遊びも、入園した頃から行っています。

最初から興味を示して遊ぶ子どももいましたが、「これなに？？」とじっと粘土を見つめている子ども、不思議な物体を見て泣き出す子も。子どもにより、さまざまな反応が見られ、今も、粘土の捉え方は違っています。

Aさんは、保育者が粘土を渡すと、まず握り、それから、ちぎりはじめました。親指と人差し指でつまみあげができるようになり、指先の操作が上達していることが伺えます。自分の指先で粘土の固まりに働きかけた結果、形が変わっていくことを楽しんでいる様子でした。



このように、表現活動においても、子ども達の変化していく姿がたくさん見られます。アート展では、ぜひ子ども達の成長を感じていただき、ご家族で楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。

Ato1



小さな博士達

廊下にある季節の野菜展示に興味が高い1歳アト組さん。近頃は、給食室で頂いた野菜の切れ端を使って園庭で遊んでいます。手で触って野菜の質感を味わったり、道具を使って切る真似をしたりしています。

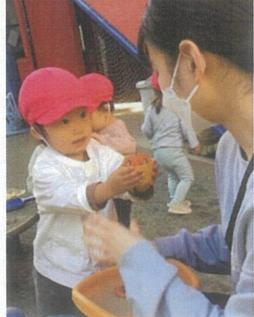
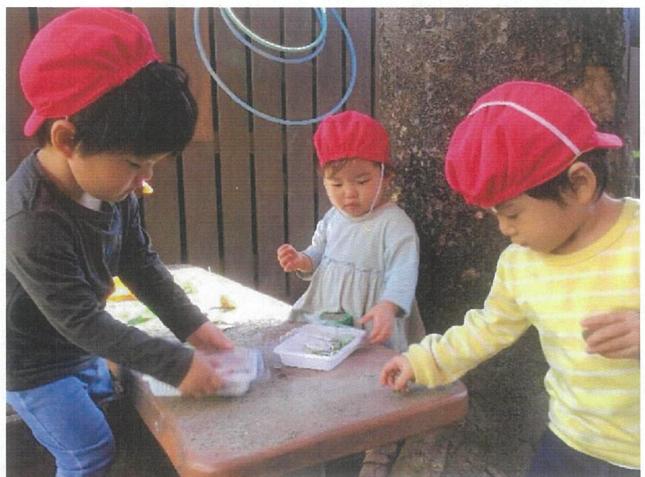
Tさんは小松菜の根に興味を持ち、指でつまんで持ち上げ重さや長さを感じているようでした。小松菜をカップに入れ満杯になると、「できた」と言っているような達成感のある表情を見せていました。

素材と対面し、子ども自身で感じたり試したりする環境を大切にしています。自分だけの楽しさや発見がある小さな博士達の興味や気持ちに寄り添っていけたらと考えています。

ぼくと友達

ある日の園庭では、弁当箱に野菜をつめて遊んでいました。Aさんは小さな野菜をいくつかつめると、見よう見まねでふたを閉め、特製弁当を完成させていました。それを見ていたTくんは空の弁当箱を持って来てAさんの近くで野菜や砂をつめていました。その場面で言葉は交わされませんでしたが、Tくんは同じ遊びをすることで、Aさんを知ろうとしたり、遊びの楽しさを味わおうとしたりしたのかもしれません。

このような場面がよく見られるようになり、「なにしているのー？」と友達に聞いたり、同じ遊びをしたりして関わりを持とうしています。友達との距離が近くなった分、互いの気持ちや欲求の食い違いから衝突する場面もあります。集団のなかで、自己表現したり、他者との関わり方を知ったりできるような環境をつくっていきます。



Pico2

光と戯れる

夏に作ったペットボトルの色水を朝の光が差し込むテラスを持って行ってみました。棚の上に並んでいた時とは違う様子に子ども達の瞳もキラキラと輝きます。色水を透かして見たり、周りを囲んで「お風呂」にしたり、頭の上にのせてみたり……。そのうち、カップをとめているビニールテープに気づくと、今度はテープを剥がすのに夢中です。剥がしたテープはというと……テーブルの脚にきれいに巻き付けられているではないですか。そんな子ども達の遊ぶ姿から、「色、光、貼る、剥がす」をテーマに創作遊びをしてみることに……。同じ材料から、一人ひとりの個性あふれる楽しい世界が広がりました

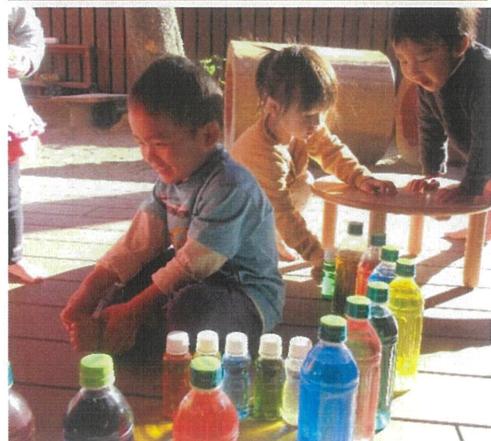
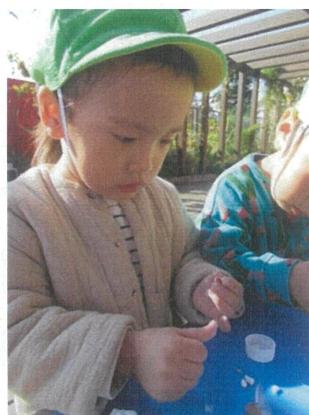


青空の下で粘土遊び

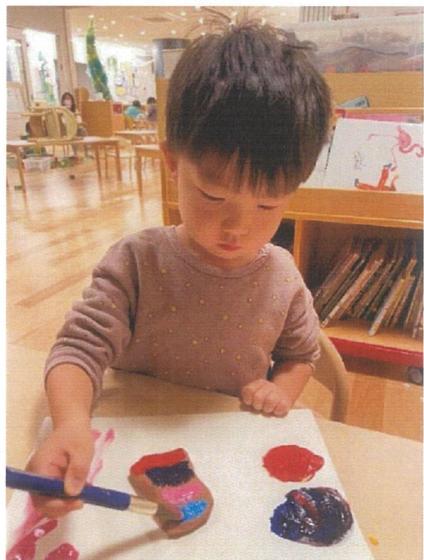
園庭や散歩先の公園で拾い集めた木の実などの自然物を使って粘土遊びも楽しみました。天気が良い日に屋上園庭でも材料を広げてみると「やりたーい」と集まってきました。Jさんは、作ったものや気に入った素材を笑顔を見せたり真剣な表情を浮かべたりしながら、粘土板に並べていきました。Jさんが遊んだ跡は、粘土板のキャンバスに一幅の絵が残っていました。

園庭に生えているイチジクを摘んで来たAくん。粘土に挿す姿は、小さな華道家という風情。生花がアート展までにどう変化するのか?それを見てAくんはどんな反応を見せるのでしょうか?

Mさんは少量の粘土を手に取り、小さな木の実にくっつけると器用に丸めて、ある妖怪を完成させました。何なのかはアート展の当日をお楽しみに。



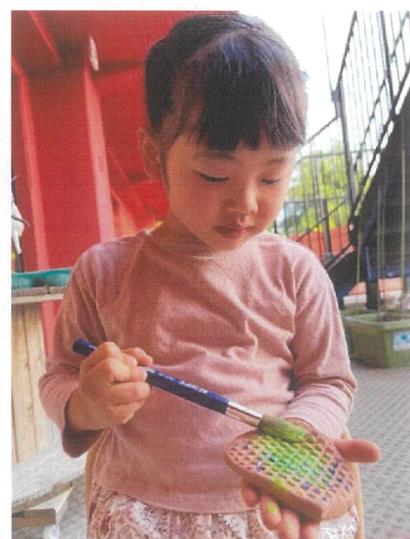
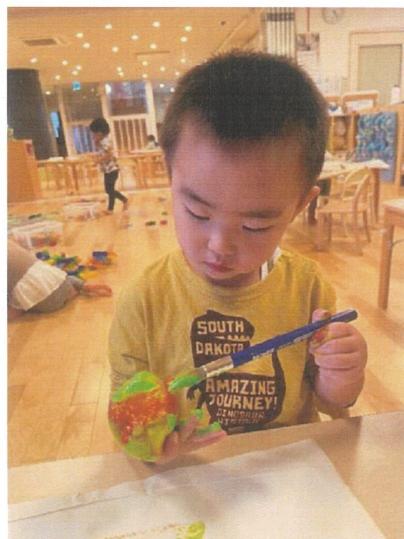
Nano3



『カラフル！虹色！』

アート展、3歳ナノ組は2つの作品が展示されます。そのうちの1つ、粘土に模様をつけたらなに見える？の作品で、粘土に絵の具で色を塗るのですが、順番に作品を作っていると、数名の子ども達の中にある共通点が……。それは『カラフル』と『虹色』というワードでした。

今までの製作でほとんど出てこなかったワードが、今回同時に数名から聞こえてきたのは、偶然か？それともなにかきっかけがあったのか？と気になりました。そして他の先生達にその話をすると、「もしかして、今年の誕生ケーキはカラフルとか虹色のついた名前が多いよね！そこからきているのかな？」という先生の一言にビビッときました。子ども達は視界に入る物を本当によく見ていて、誕生会も毎月楽しみにしています。そして1階エントランスのところにはケーキが飾られていて、パパやママと一緒に見ている姿がたくさん見られているのです。ひらがなにも興味が高く、もうすっかり読める子もいます。パパやママにケーキの名前を聞いているのか、もしくは自分でひらがなのケーキ名を讀んでいるのか？どちらとも考えられます。クラスを越えて過ごす日々、誕生会などのイベント、異年齢から受ける刺激は本当に大きい物です。



今回のアート展は、そんな異年齢からの刺激も含まっている作品になっています。3原色から始まり、色の変化を楽しみ、カラフルに興味を持ち始めた子ども達の移り変わった姿も楽しみにしてください！

Nano4

～アート展に向けて～

先月から自然物に興味を持ち始めた子ども達。どんぐりを使った遊びに加えて今度は沢山の枝や葉っぱを使った遊びも経験しました。一番始めは公園に落ちていた枝を串に見立てて葉っぱを焼き鳥のように刺して行き「いただきま～す」などのごっこ遊びから始まった事が段々と進展していきました。

次に保育者が落ち葉をハサミで細かく切っていると女の子達が集まってきたので、持っていたハサミを渡してみると同じように細かく切って並べていきました。それと同時に男の子達は枝を使った遊びも行っていました。最初は枝を何本か集めて立たせようとしていました。でも、なかなか上手く立ちません。一緒に考え、周りを見渡すと丈夫そうな長めの葉を発見！「これで出来ないかな？」と葉で枝を縛った物を見本で作ると子ども達も挑戦しました。最初は複数ある枝をまとめて縛って立たせる事がとても難しく、すぐに崩れてしまいます。保育者と一緒に縛る事を何度も繰り返していくうちにコツを掴んできたようでは結べなくても固定できるようになってきました。そこから今度は保育園から毛糸を持っていき、毛糸で縛る遊びに変えてみました。毛糸の方が細くて難しそうでしたが、縛るだけではなく四角や三角など色々な形を作つてみると「何これ～」と興味津々！この遊びの経験からアート展に向けた活動がスタートしました。作品を作っていく過程では枝や毛糸を使って好きな形に見立てたり、葉っぱを毛糸に通したり、今までの遊びが経験になったようです。



自然物を使った遊びを繰り返してきたからか、子ども達も自然と木や葉っぱに意識がいくようになり、公園に行くと「先生あそこの上、見て見て！」「秋だから葉っぱの色が黄色に変わってるよ！でも、まだ緑のまま変わってない葉っぱもあるよね。これから変わるんじゃない？」「あれは、イチョウって言うんだよね」などと、自然の変化を気にするようになった気がします。アート展では子ども達の想像力やそれぞれの思い、興味のある物を表現しました！楽しみにしていて下さい。

Nano5

～まちづくり エピソード ZERO～

はじまりは夏の水遊びでした。色々な玩具を使って創造しながら遊ぶのが得意な5歳ナノ組の子ども達！ご飯のおひつで泡を作ったり、空気入れに水を入れて水鉄砲にして遊んだりと大人が思い浮かばないような使い方を発見をしていました。とある日、L字型の発砲スチロールを渡すと興味津々に集まってきたました。「何に使おうかな」とまじまじと見つめたり、時には座ってみたり。その時、Aくんが2つ持ってきて、繋げてみました。そこに一人、また一人とL字の発砲スチロールを持ってきて繋げると、あっという間に長いすべり台のできあがり。「ピタゴラスイッチみたい！」と何かひらめいたのか、みんなで協力して長いすべり台ができ、泡や、色水を流して楽しんでいました。

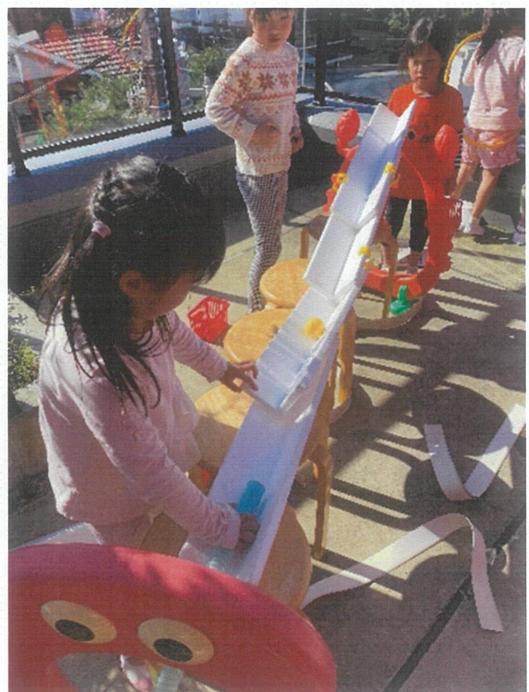


室内遊びの時間でも、大小様々な積み木を並べたり、重ねたり。ある日アザラシのお家を作っていたYくんとRくん、Kくん、Hちゃん。積み木を上手く合わせてお庭やプール、隠れ家などお家以外の場所も広々と作っていました。「こうやって登ってここから飛ぶんだ、庭になっていて、隣がお家になってるんだよ」「あざらししか入れないんだけどね」「もっと大きく作ってみたいね」と会話しながら楽しんでいました。その会話をきっかけに5歳ナノ組だけの特別な街を作ってみることになりました。まずはみんなの住む街には何があるか探検しよう！！ということでおで5歳ナノ組だけで街探検に出発しました！

～見たものだけではない、なにか～

「電車が通っているね」「マンションもあるね」「保育園の前には島忠があるね」とまずはすぐ目につくものから。高架下に着いてみんなで耳を澄ましてみると「ゴトン、ゴトンっていってる」「電車の通る音でしょ」「こんなにうるさかったっけ？」また少し歩いて行くと住宅街「なんかいい匂いするよ」と、いつも通る道、街並みもちょっと意識を向けると発見がたくさんありました。そして探検したあとはみんなで共有し、今度はみんなが考える楽しいワクワクする街を作ってみることになりました。

5歳ナノ組らしく子ども達同士でたくさん対話をしていくなかで生まれた街、それぞれ少人数のグループに分かれて取り組んできました。想像力豊かな子ども達が作りあげた、リアルとファンタジーの世界にぜひ遊びにきてください！



「表現」とは、もう一人の自分である。もう一人の自分を絵で描き、工作で作る。

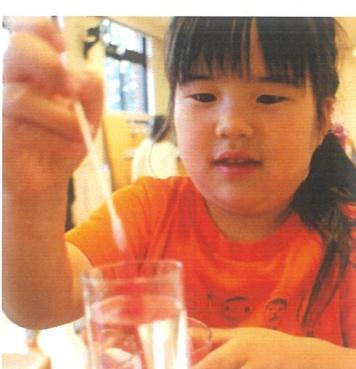
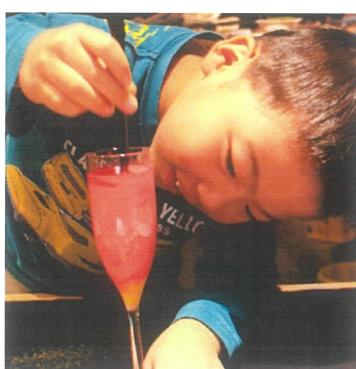
てきとうにやればてきとうな自分、根気よくやれば根気よい自分が一人生まれる。それが「表現」だ。

(当時 11歳の少年の言葉)

Atelier

「子どもたちの 100 の色と言葉」

そんな夏の遊びから、5歳ナノ組の自分だけの色水作りが始まりました。先ず最初に作る3色は「大好き」と「ワクワク」そして「ドキドキ」がテーマです。子ども達は目の前に並ぶ12色の粉絵の具を調合し、イメージする色を作り出します。Aくんは「大好き」では自分の好きな赤と青を混ぜました。そしてできあがった色から赤ちゃんの頃に飲んだジュースを思い出し、それを私に話してくれました。「ワクワク」でAさんは、黄色とほんの少しの白を混ぜてみました。生まれた色は『うす黄色』。そして出来上がった色を眺めながら「うす黄色、やってみたかったんだよね~、うすくなるかな~と思って」と嬉しそうに言いました。まさにAさんは、色を作りながら「ワクワク」していたのです。「ドキドキ」でRくんは「ドキドキする色って何かなあ?」と考えていましたが、どんな色になるか分からぬ色を混ぜてみることにしました。「どんな色になるか分からない、ドキドキする、さあ混せてみよう!何色になるんだろうね、ドキドキ~」と「ドキドキ」を何度も言葉にしていました。そして出来上がったのが『チョコレートにも見える色』でした。

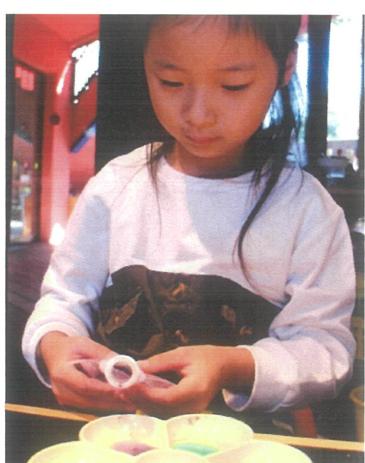
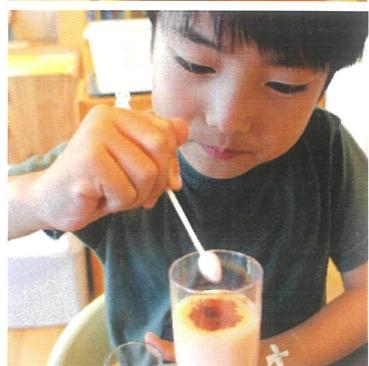
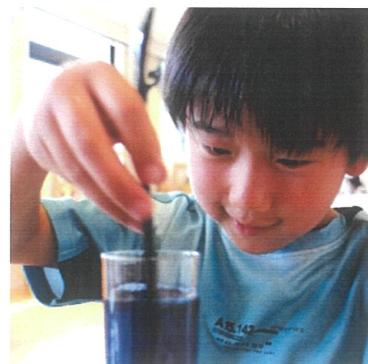


こうして少しづつ色は増え、5歳ナノ組全員で作った色は全部で63色に。そこで、さらに一人あと2色を作り、合計100色(実際には105色)を目指すことにしました。今度のテーマは子ども自身が決めました。Sさんは「光る色」をテーマに、花火や虹を連想。Hくんが考えたテーマは「ヤバい色」。ヤバいってどんなことかを尋ねると「なんか恐い人が来たりした時や怪奇現象が起きた時、でもまだ見たことない」と教えてくれました。Hくんが生み出した色は『血の色』。そして「かなりでもないけど、ヤバいね」と友達に言いました。このように子ども達は色との関わりをもつ中で、過去の自分と出会ったり、今感じていることを確かめたり、それについて友達と語り合ったりしていました。

105の色が出来上がったのは、もうすっかり銀杏の葉が黄色く色づく頃。子ども達は自分で作った5色の色水絵の具で絵を描きました。パレットに出した色水絵の具を、子ども達はとても大切に使います。できる限り残さずに、それでも残った色は流しで洗わなければなりません。その日Kさんは、絵を描き終え絵の具を流す時こうつぶやいたのです。「残念だなあ~ありがとう、また会おうじゃないか~」まるで絵の具が命のある友達のように。その時私は何年も前に出会った、冒頭に掲げた少年の言葉を思い出しました。子どもの作品は単に表現の痕跡や結果ではなく、一人一人の子どもの変化や成長を内包し、それを映し出す魔法のメガネでもあります。5歳の子ども達が色を通して自分自身と根気よく向き合ったように、作品を通して子ども達の内面が感じられる、今年もアート展がそんな素敵な時間となることを願っています。

(文責:一然)

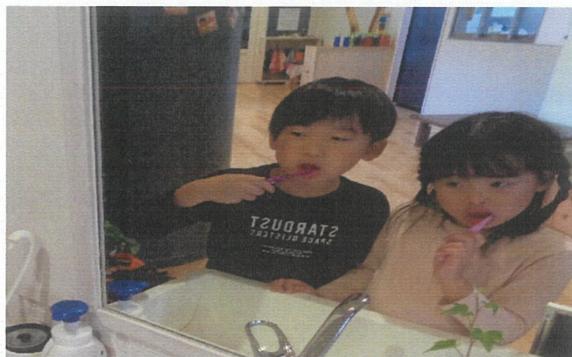
あれはまだ熱い日差しの中、屋上で水遊びをしたりプールに入ったり、色水遊びを楽しんだりしていた頃。猛暑を避け、時に子ども達は部屋の中でも色水作りを楽しみました。



ほけんだより、

11月は歯科検診後に歯みがき指導を実施しました。

5歳児クラスは歯の染め出しをしました。染め出しの粒を渡すと、みんな恐る恐る口に入れしていました。反応は様々で「甘い」という子もいれば「苦い」と顔をしかめる子も！ピンクに染まった口の中を見て「イチゴかき氷食べた時みたい」と話す子もいました。



ピンクの汚れを落とそうと鏡を見ながらみんな真剣に歯みがきをしていました。

染め出しの結果、やはり歯と歯茎の境目や奥歯は汚れが落ちにくいということが分かりました。

磨き残しが多い部分や歯の裏側などは保護者の方が仕上げ磨きをしてあげてください。

歯科検診でむし歯を指摘されたお子様はほとんどいなかったので、引き続き上手に歯みがきをしてむし歯にならないように気付けていきましょう！！



～ 感染症情報～

今年の冬はインフルエンザと新型コロナウィルスの同時流行が懸念されています。

インフルエンザも新型コロナウィルスも予防方法は同じです。

○手洗いの徹底 ○必要な場所ではマスクを着用する ○予防接種

○適度な湿度を保つ・・・空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50%～60%）を保つことも効果的です。

※インフルエンザや新型コロナウィルスの予防接種を受けた際は、すこやか手帳に記載をお願いします。

12月のよてい

発育測定 12月 7日（水）

○歳児健診 12月 1日（木）

12月 14日（木）

Lunch & Snack time

食育だより

毎日アルテに野菜や果物を届けて下さるハ百屋さんが、「今日のりんごのツヤは中からオイルが出てきたもので美味しい印なんだよ！」と教えてくれました。早速、食育コーナーに展示するとほのかな甘い香りが広がります。食育コーナーには、毎日の給食だけではなく旬の食材や珍しい野菜や果物も手の届くところに展示しています。本物に触れる体験を大切にしたいですね。

おいしい香りを目の前で盛り付けています。

保育者が見本の給食を示し、一人ひとりと「同じにしますか？少なくしますか？」の選択から始まる対話を楽しみながら盛り付けます。蓋を開けた瞬間のホカホカのおいしい香り。目の前での盛り付けてもらうワクワク感。自分の意思を伝え聴いてもらえる安心と満足。子供たちのおいしいの笑顔が溢れます。
1歳アト組さんは主食の白米を、2歳ピコ組さんは主食も副食も全てやりとりをして目の前での盛り付けを始めました。



11月のお誕生日会

お誕生日会のおやつは「プリンアラモード」
プリンに好みの果物をトッピング。

アルテの畑

大根の葉が立派に茂っています。上旬に収穫予定です。

12月の行事食予定

12/2（金）アート展前日

〔昼食〕お赤飯

12/21（水）お誕生日会

〔昼食〕カレーピラフ・白身魚のトマトソース
さつま芋サラダ・白菜のスープ・みかん

〔おやつ〕季節のケーキ（いちごババロア）

12/22（木）冬至

〔昼食〕いとこ煮（南瓜と小豆）

12/23（金）クリスマス会

〔昼食〕クリスマススペシャルランチ

※5歳は「アルテ・リストランテ」を予定

冬の野菜

凍つくり寒さで凍りつかないように、糖分をたっぷりと蓄えた野菜たちは、とびっきりのおいしさになります。地面の下では糖分を蓄えた、だいこん・れんこん・ごぼうなどの根菜類が大きく太っています。白菜・小松菜・寒締ほうれんそうなどの葉物も味が濃くなる季節。冬の旬は、寒くなればなるほど美味しいくなる野菜を楽しみます。

「旬の野菜の栄養辞典」より

冬至

12/22は、冬至です。北半球では太陽の高さが1年で最も低くなります。そのため、一年中で最も短く、夜が長くなります。この日に柚子を浮かべた柚子湯に入り、南瓜を食べると風邪をひかないといわれています。

